



図書だより

10月27日から11月9日は読書週間です。

今年のテーマは「こころとあたまの、深呼吸。」
図書館で本のページをめくってみましょう！

調べものに役に立つ（かもしれない）インターネットツール Vol.2

富士山学の研究や、日常生活でふと「あれ？」と思ったことをいろいろな手段・方面から調べてみましょう。図書館の本とインターネットをうまく活用すると答えにたどり着けるかもしれません！

○県図書リンク集 [リンク集 | 山梨県立図書館](#)

山梨県立図書館ではジャンル別に様々なお役立ちリンクをまとめています。掲載中のリンクを一つご紹介！このような面白いサイトに出会えるかもしれません。→ [4D本棚 | 新書マップ4D](#)

○レファレンス協同データベース [簡易検索結果一覧 | レファレンス協同データベース](#)

図書館の知識が集まったデータベース！全国の図書館等に集められた質問に図書館員が答えた事例を検索できます。似た疑問とその答えや調べ方が見つかるかも？「富士吉田」を調べてみました。

○国立国会図書館デジタルコレクション [国立国会図書館デジタルコレクション](#)

国立国会図書館で収集・保存しているデジタル資料を検索・閲覧できるサービス。本や雑誌のほか、博士論文や古典籍資料、古い新聞などを調べることもできます。



○木簡庫 [木簡庫 奈良文化財研究所](#)

先日調べものをしていて見つけた、木簡のデータベースです。マニアックですね。

○その他公立図書館などでは、日付やキーワードから検索できる新聞データベースを使える場合があります。誕生日にどんなことがあったのか、過去の記事を探すのも楽しいです！



★ レファレンス・サービスを利用してください！ ★

・[レファレンス・サービスとは？](#)→ 図書館員がみなさんの疑問に答えたり、参考になる資料を探すお手伝いをしたりするサービスです。学校の図書館のほか、地元の市立図書館、県立図書館でももちろんOK！こんなこともきいていいのかなーとってしまうようなちょっとしたことも、調べ始めたけどなかなか答えが見つからないというときもどんどん図書館の人に聞いてみましょう！

※ 受験に向けて、小論文などの参考になる本を探したいときなども遠慮なく相談してください。※
小論文の書き方についての本も展示中です！

『おにぎりの文化史』

(横浜市歴史博物館／監修、河出書房新社)
「おにぎり」はいつから握られたの？ 具入りおにぎりは中世に出現？ 文献や絵図、考古資料などさまざまなアプローチによって、古代から現代にいたる日本人とコメの密接な歴史に迫る。(383/オ)

『世界の米料理』

(荻野燕子／著、誠文堂新光社)
ロシアのカレリア風ピロシキ、スペインのパレンシア風パエージャ、インドのドーサ…。著者が世界中を旅して出会った米料理の中で心に残ったものを、日本でも作りやすいレシピにして紹介します。日本の米料理も掲載。(596/オ)

『米の日本史』

(佐藤洋一郎／著、中央公論新社)
日本人にとって特別な食・米。主食、貨幣、酒、菓子など日本人と米のかかわりは深く、「米を腹いっぱい食べたい」という思いが歴史を動かしてきた。農学や文化の視点を交えながら、日本人と米の特殊な関係を解き明かす。(新書616.2/オ)

食欲の秋、食品ロス削減月間など食の季節。

稲刈りが終わった田んぼも増えてきましたね。

今回はこれらに関する本を紹介します。



『食品ロスはなぜ減らないの?』

(小林富雄／著、岩波書店)
食品ロスはどうしたら減らせるのか？ その問題点と課題を明らかにし、解決に向けての国内外の食糧事情やフードバンク等を始めとする取り組み、さらには地域や学校、個人でできる様々な活動を紹介する。(611.3/コバ)

『食堂かたつむり』

(小川糸／著、ニュートンプレス)
衝撃的な失恋のあと、倫子は故郷に戻り、実家の離れで食堂かたつむりを始めた。ここの料理を食べると、恋や願い事が叶うというまことしやかな噂とともに、食堂は評判になるが…。(913.6/オ)

以上TRC - MARCより

☆ 図書委員2年 Maki さんのおすすめ本

『君の膝臓をたべたい』

(住野よる／著、双葉社)
これは主人公の「僕」がヒロイン・山内桜良の『共病文庫』を偶然拾ってしまったことから始まる物語である。ひょんなことから彼女の秘密を知った僕は彼女の最期までたくさん振り回される。そんな彼女の最期は誰もが想像できないようなものであり、彼女の死後、僕は彼女のおかげで「人として初めてこの四ヶ月間を生きていた」ことに気づく—。(913.6/ス)

☆ 図書委員2年 三浦寧子 さんのおすすめ本

『明日の世界が君に優しくありますように』

(汐見夏衛／著、スターツ出版)
幼少期の事故をきっかけに母親から愛されていないと“思い込む”少女・真波と幼少期に海に溺れた時に助けてくれた女の子が亡くなったことに対して“罪悪感”を抱く少年・漣。この2人には見えていなかった愛や想いがあきらかになっていきます。2人がさまざまな感情をぶつけ合い前に進んだ先に得た考え方とは。ぜひ読んでみてください。(ライトバル913.6/シオ)

☆ 図書委員2年 三浦紫乃 さんのおすすめ本

『木曜日にはココアを』

(青山美智子／著、宝島社)
物語の始まりは、川沿いの桜並木のそばに佇む喫茶店「マーブル・カフェ」で出された一杯のココアから。そして物語はどんどん繋がっていきます。結末にはどんなことが待っているのでしょうか。きっとあなたもこの本を読めば心が癒されるはずです。悩みが尽きないこの日々の中で、ふっと笑顔になりたい時はぜひ、この本を手にとってみてください。(文庫913.6/アオ)